

参加者へのお知らせとお願い

■研究会参加者の皆様へ

1. 受付は日本消防会館ニッショー・ホールにて下記の時間より開始します。
3月7日（土）11：30～
3月8日（日） 8：30～
2. 参加登録費（抄録集、発表論文集代を含む）
正会員（施設会員代表者含む） 7,000円
その他 10,000円
※会場ではネームカードに所属・氏名を記入の上、必ず着用して下さい。
3. 発表論文集
発表論文集を後日郵送しますので、参加登録の際には所定の用紙に住所・氏名を正確にご記入下さい
(不正確ですと発表論文が届かないことがございます)。
4. 会場での発言はマイクを使用し、所属・氏名を最初に述べて下さい。
5. 会場での呼び出しは緊急の場合のみに限り、受付で申し受けます。外部からの電話呼び出しは先方の番号のみ
伺っておきますので、改めてご自分でお掛け直し下さい。
会場内のアナウンスはお断りします。
6. 会場内は禁煙です。
7. その他のお問い合わせは受付へご連絡下さい。
8. 日本透析医学会専門医の単位取得について
本研究会に参加されますと、日本透析医学会の専門医制度により定められた3単位を取得できます。単位取得
のための参加証は参加受付にてネームカードを確認の上お渡しします。

■座長の先生方へ

1. 担当セッションの開始15分前までに、次座長席にご着席下さい。
2. 演者の口演時間および討論時間は厳守でお願い致します。

■演者の方へ

1. 発表時間
一般演題：口演7分 討論3分（前回優秀演題：口演12分 討論3分）
シンポジウム：発表＋質疑 20分

2. 発表について

- ・パワーポイントによる PC (パソコン) での発表のみです (スライドでの発表は受けませんのでご注意ください).
- ・利益相反 (COI) についての情報開示をお願い致します. 発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください.
- ・PC 受付に発表予定時刻の 30 分前までにお越し頂き, 出力をチェックしてください. モニターの使用方法等についてご不明の点はオペレーターにお尋ね下さい.
- ・プロジェクターは 1 台のみです. ご発表時にはご自身で送り・戻しの操作をお願い致します.

1) データの持込の場合

- ・PC は以下の環境で用意致します.
OS = Windows7
Power Point = ver.2003 以降
- ・Macintosh は用意しておりません. Macintosh で発表される方は, ご自身の PC をお持込下さい.
- ・Windows format に限り CD-ROM もしくは USB 接続のフラッシュメモリデータスティックをご持参下さい (MO, FD, ZIP では受付できませんので, ご注意ください).
必ず, バックアップデータをお持ち下さい.
- ・文字化けをふせぐため, OS に標準インストールされているフォントをご使用下さい.
- ・動画を使用される場合はご自身の PC をお持込下さい (データをご持参された場合, 確実に作動する保障はありません). 音声の使用はできません.
- ・お預かりしたデータは研究会終了後, 事務局が責任を持って消去致します.

2) PC 持込の方へ

- ・Windows, Macintosh のどちらでも受付可能です. PC 本体に出力用の D-sub 15pin ミニ端子がついている事を確認してください. 変換コネクタを必要とする場合は必ずご持参下さい. また, 電源アダプターも必ずお持ち下さい. 音声の使用はできません.

3. 発表論文提出について

- ・発表論文 (掲載用論文) は「腎と透析」(東京医学社) の投稿規定に即して作成し, 後日, 印刷した原稿とともに CD-R または USB 電子媒体を日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会事務局宛て郵送にてご提出ください.
- ・掲載漏れなど防ぐために, 研究会当日ならびに事務局以外 (東京医学社) では一切受付できませんので, ご了承ください.
- ・提出期限は研究会開催年の 4 月末日といたします.
- ・研究会開催後に事務局より再度発表者様に上記内容「発表論文提出について」をメールにて案内致しますので, ご確認ください.
- ・4 月末日までに提出がない発表者様に対しては事務局より確認のメールを送信致します. ただし, 確認のみの案内であり, 提出期限の延長などは一切認められません.
- ・郵送物 (原稿と CD-R または USB 電子媒体) に不足がある場合はメールにて連絡致します. 再提出なければ受理できませんので, ご了承ください.
- ・受理いたしました掲載用論文は発表者様へメール通知を行った後, 事務局より東京医学社へお渡しし, 校正などの取扱いについての責任を譲渡致します.

■情報交換会 (参加費 1,000 円)

3月7日(土) 18:00より, 霞ヶ関ビル 35F 東海大学校友会館にて会員情報交換会を開催致します. どうぞご参加下さい.

なお, 情報交換会参加申し込みは研究会参加受付隣 (ニッショーホール 1F) にて行います.

役員一覧

名誉会長

斎藤 明 (湘南東部総合病院)

理事長

水口 潤 (川島病院)

(以下 アイウエオ順)

顧問

秋澤 忠男 (東京腎疾患研究・情報センター)

秋葉 隆 (東京ネクスト内科・透析クリニック)

酒井 清孝 (早稲田大学)

佐中 孜 (江戸川病院)

鈴木 正司 (信楽園病院)

内藤 秀宗 (内藤医学研究所)

理事

川西 秀樹 (土谷総合病院)

竹澤 真吾 (九州保健福祉大学)

武本 佳昭 (大阪市立大学)

友 雅司 (大分大学)

政金 生人 (矢吹病院)

山下 明泰 (法政大学)

監事

衣笠 えり子 (昭和大学横浜市北部病院)

峰島 三千男 (東京女子医科大学)

事務局

〒770-8548 徳島県徳島市北佐古1番町1-39

社会医療法人 川島会 川島病院

TEL : 088-631-1755 FAX : 050-3730-3065

URL : <http://www.hpm-net.jp> Email : information@hpm-net.jp

プログラム

第1日目 3月7日(土)

13:00~13:10	開会の辞
13:10~13:40	基礎研究
13:40~14:10	膜の性能評価
14:10~14:50	臨床評価
14:50~15:00	休憩
15:00~15:40	その他
15:40~16:00	総会
16:00~17:00	特別講演
18:00~	情報交換会

13:00 ~ 13:10 開会の辞

理事長：水口 潤（川島病院）

13:10 ~ 13:40 基礎研究

座長：中川 宜明（株式会社ジェイ・エム・エス）

春原 隆司（ニプロ株式会社）

O-01. 血液透析中の尿素除去動態について 1-compartment model による解析精度を向上させるための検討

東京女子医科大学 臨床工学部¹⁾

東京女子医科大学 血液浄化療法科²⁾

東京女子医科大学 臨床工学科³⁾

東京女子医科大学 第4内科⁴⁾

○村上 淳¹⁾ 花房 規男²⁾ 峰島 三千男³⁾ 土谷 健²⁾ 新田 孝作⁴⁾

O-02. 膜表面改質処理が施されたダイアライザに膜付着した血小板活性化及び接着性タンパク質の解析

旭化成メディカル株式会社 医療製品開発本部 医療技術・材料研究所¹⁾

旭化成メディカル株式会社 血液浄化事業部 製品戦略第一部²⁾

○高辻 諒¹⁾ 田中 祐璃¹⁾ 鎌田 絹枝¹⁾ 畑中 美博¹⁾ 小泉 智徳¹⁾ 齋田 裕子²⁾ 是本 昌英²⁾

O-03. 全濾過法による透析液排液からのアルブミン漏出量モニタリングの基礎的検討

日本医療科学大学 保健医療学部 臨床工学科¹⁾

日本医療科学大学 保健医療学部 医療・基礎教育科²⁾

川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床工学科³⁾

○細川 大賀¹⁾ 堀 秀樹¹⁾ 滑川 亘希²⁾ 山本 健一郎³⁾

13:40 ~ 14:10 膜の性能評価

座長：田岡 正宏（偕行会）

須賀田 徹（東レ・メディカル株式会社）

O-04. 後希釈 On-line HDF におけるフレゼニウス社製 FX 180 HDF の性能評価

医療法人社団 菅沼会 腎内科クリニック世田谷¹⁾

医療法人社団 菅沼会 腎内科クリニック世田谷 人工透析内科²⁾

○西澤 喬光¹⁾ 阿部 達也¹⁾ 種山 嗣高¹⁾ 斉藤 祐太¹⁾ 正木 一郎¹⁾ 菅沼 信也²⁾

O-05. 旭化成メディカル社製ヘモダイアフィルター ABH-22LA (ABH) の性能評価

医療法人 康仁会 西の京病院 診療支援部 臨床工学科¹⁾

医療法人 康仁会 西の京病院 透析センター²⁾

○野口 幸¹⁾ 萩原 誠一郎¹⁾ 中川 美沙子¹⁾ 田村 尚紀¹⁾ 二神 徳明¹⁾ 山岡 みゆき²⁾ 吉岡 伸夫²⁾
高比 康臣²⁾

O-06. ポリフラックス 210H を使用した定圧濾過後希釈オンライン HDF における溶質除去特性の検討

特定医療法人 あかね会 中島土谷クリニック¹⁾

○西田 英樹¹⁾ 森石 みさき¹⁾ 高 義尚¹⁾ 出口 健太郎¹⁾ 谷川 智彦¹⁾ 土谷 晋一郎¹⁾

14:10 ~ 14:50 臨床評価

司会：長沼 俊秀（大阪市立大学）

富沢 成美（日機装株式会社）

O-07. ABH-22LA が栄養状態および自覚症状へ与える影響の検討

医療法人あかね会 大町土谷クリニック 透析室¹⁾

医療法人あかね会 大町土谷クリニック 内科²⁾

○宗美 淳志¹⁾ 内田 賢太¹⁾ 三原 和樹¹⁾ 原田 義規¹⁾ 山岡 真治¹⁾ 河角 俊和¹⁾ 真野 純¹⁾
熊谷 純子²⁾ 高橋 直子²⁾

O-08. 高齢患者における f-HdF を試みて

（医）援腎会すずきクリニック

○伊東 健 人見 友啓 鈴木 翔太 鈴木 一裕

O-09. 当院における PMMA 膜使用患者の現況

医療法人社団三思会 東邦病院 臨床工学科¹⁾

医療法人社団三思会 東邦病院 腎臓透析センター²⁾

○白石 晴香¹⁾ 宮村 竜也¹⁾ 大澤 佑介¹⁾ 坂田 賢一¹⁾ 松本 理恵¹⁾ 松村 昌樹¹⁾ 吉田 真貴²⁾
吉田 弘明²⁾ 小林 さつき²⁾ 松本 孝之²⁾ 植木 嘉衛²⁾

O-10. High volume オンライン HDF の臨床評価 第2報

特定医療法人 あかね会 中島土谷クリニック¹⁾

○矢野 勝也¹⁾ 森石 みさき¹⁾ 下方 実樹¹⁾ 高 義尚¹⁾ 谷川 智彦¹⁾ 真島 菜々子¹⁾
土谷 晋一郎¹⁾

14:50 ~ 15:00 休憩

15:00 ~ 15:40 その他

司会：小川 智也（埼玉医科大学）

是本 昌英（旭化成メディカル株式会社）

O-11. アルブミン漏出抑制タイプのヘモダイアフィルタを用いた大量濾過オンライン HDF

釧路泌尿器科クリニック

○大澤 貞利 山本 英博 斎藤 辰巳 伊藤 正峰 中村 祐貴 佐野 洋 久島 貞一

O-12. リクセルの前接続と後接続の違いによる各部位の圧力変化について

医療法人社団 平生会 宮本クリニック¹⁾

明石市立市民病院²⁾

○重松 武史¹⁾ 中村 拓生²⁾ 上村 健登¹⁾ 西庵 良彦¹⁾ 宮本 孝¹⁾

O-13. 血液透析患者における透析条件とイオン化 Mg 率についての検討

社会医療法人川島会 川島病院 腎臓内科¹⁾

臨床工学部²⁾

○田代 学¹⁾ 田中 悠作²⁾ 道脇 宏行²⁾ 島 久登¹⁾ 井上 朋子¹⁾ 川原 和彦¹⁾ 田尾 知浩²⁾

岡田 一義¹⁾ 水口 潤¹⁾

O-14. 血液透析とオンライン血液濾過透析による血中フェノール誘導体、核酸除去率の比較

社会医療法人川島会川島病院¹⁾

東北大学²⁾

○島 久登¹⁾ 道脇 宏行¹⁾ 金光 祥臣²⁾ 三島 英換²⁾ 田尾 知浩¹⁾ 岡田 一義¹⁾ 富岡 佳久²⁾

阿部 高明²⁾ 水口 潤¹⁾

15:40 ~ 16:00 総会

16:00 ~ 17:00 特別講演

司会：斎藤 明

血液浄化治療におけるラジカルアクセプター α 1-microglobulin (α 1-m) 除去の意義

社会医療法人川島会 川島病院 学術企画室

○金 成泰

18:00 ~ 情報交換会

プログラム

第2日目 3月8日(日)

9:30～10:15 前回優秀演題

10:15～10:25 休憩

10:25～12:50 シンポジウム

12:50～13:00 閉会の辞

9:30 ~ 10:15 前回優秀演題

座長：水口 潤

O-15. 逆濾過方式のI-HDF療法における膜面積が溶質除去性能に与える影響

法政大学 生命科学部 環境応用化学科

○渡辺 誠也 井戸田 直和 山下 明泰

O-16. リクセルを透析膜直後に接続することで生体適合性と除去効率は向上するか

医療法人社団 平生会 宮本クリニック¹⁾

明石市立市民病院²⁾

○重松 武史¹⁾ 中村 拓生²⁾ 上村 健登¹⁾ 西庵 良彦¹⁾ 宮本 孝¹⁾

O-17. FIX-E を用いた間歇補液プログラムの有用性（統報）

(医) 援腎会すずきクリニック

○入谷 麻祐子 人見 友啓 鈴木 翔太 鈴木 一裕

10:15 ~ 10:25 休憩

10:25 ~ 12:50 シンポジウム「血液浄化器の機能分類 2013 を再考する」

司会：峰島 三千男

深澤 瑞也

SY-01. 血液浄化器の機能分類と性能評価法：いままでの経緯と今後検討すべき課題

東京女子医科大学

○峰島 三千男

SY-02. ダイアライザの in vitro 性能評価における α 1 ミクログロブリンの代替物質の検討

北里大学 医療衛生学部

○小久保 謙一 金田 直人 栗原 佳孝 小林 こず恵 久保田 勝

SY-03. In vitro におけるヘモダイアフィルタの試験法の課題

一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会 (MTJAPAN)

人工腎臓部会 透析技術分科会長

○大平 久英 (日機装株式会社)

SY-04. ハイパフォーマンスダイアライザの生体適合性と生命予後 ～膜材質の特徴から考察する～

日本大学 腎臓高血圧内分泌内科

○阿部 雅紀

SY-05. Alb 漏出 / 血清 Alb 濃度と生命予後の関連性について

社団医療法人 川島会 川島病院

○田代 学

12:50 ~ 13:00 閉会の辞